

福島第一原子力発電所3号機のMOX燃料使用に係る 安全監視情報の確認結果について

平成23年1月26日

安全確認PT

福島第一原子力発電所から平成23年1月25日付けで情報提供のあった、原子炉内のMOX燃料及びウラン燃料の最小限界出力比及び燃料棒最大線出力密度の測定値について、確認した結果は下記のとおりです。（平成23年1月17日～平成23年1月24日までのデータとなります。）

記

1 測定値の推移

(1) 最小限界出力比（別紙図1参照）

MOX燃料の測定値は、1.67～1.76と運転制限値（1.28以上）の範囲内で推移した。

ウラン燃料の測定値は、1.47～1.53と運転制限値（1.29以上）の範囲内で推移した。

(2) 燃料棒最大線出力密度（別紙図2参照）

MOX燃料の測定値は、38.7～40.8W/mと運転制限値（44.0kW/m以下）の範囲内で推移した。

ウラン燃料の測定値は、37.8～40.0W/mと運転制限値（44.0kW/m以下）の範囲内で推移した。

2 確認結果

いずれの測定値も運転制限値の範囲内で推移しており、特に問題のないことを確認した。

なお、最小限界出力比及び燃料棒最大線出力密度の値が、サイクル燃焼度3.0GWd/t手前に変動しているが、これは、1月19日に制御棒を挿入して原子炉の再循環流量を増加させる制御棒パターン調整を実施したためである。

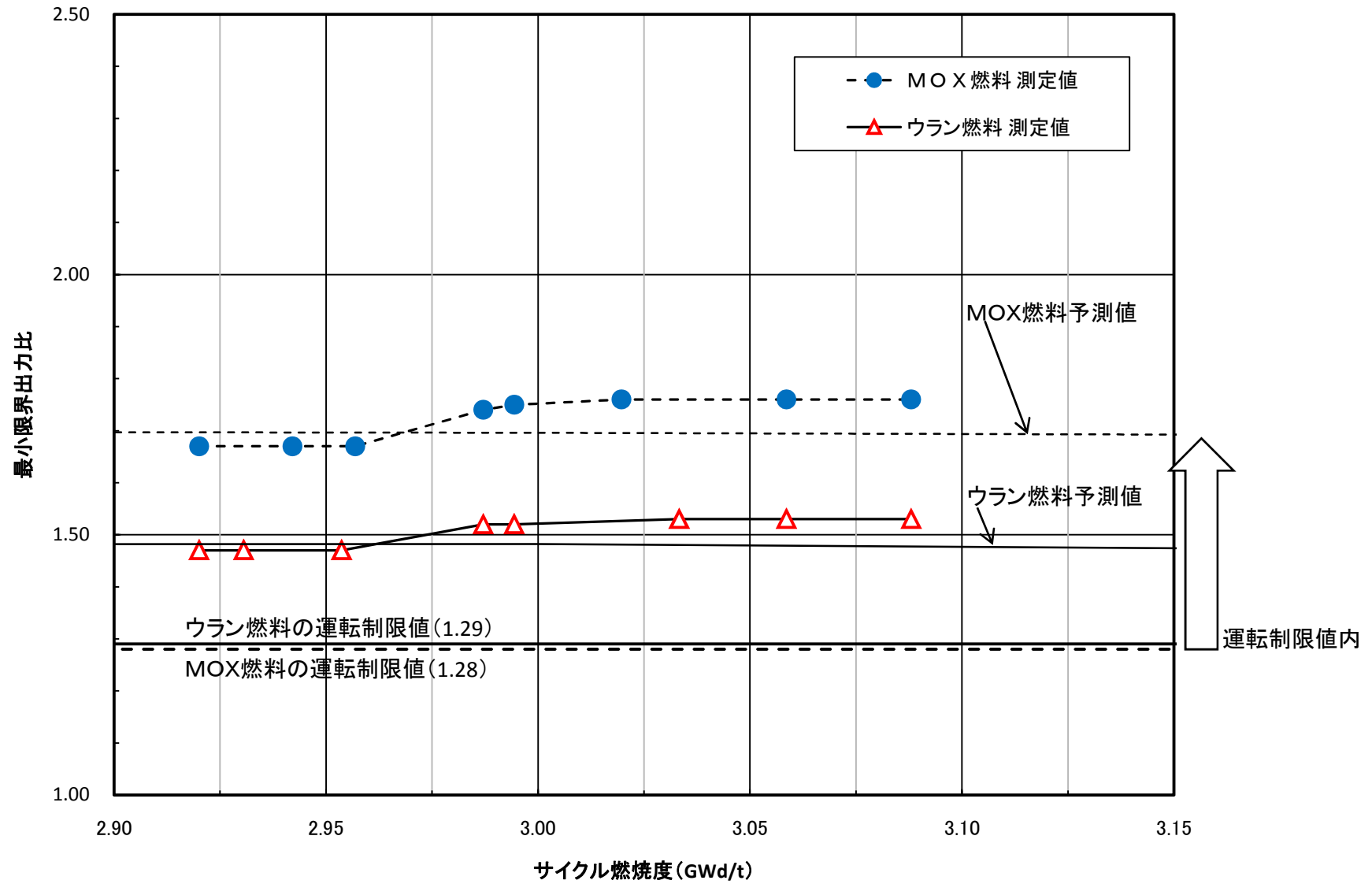


図1 最小限界出力比の推移

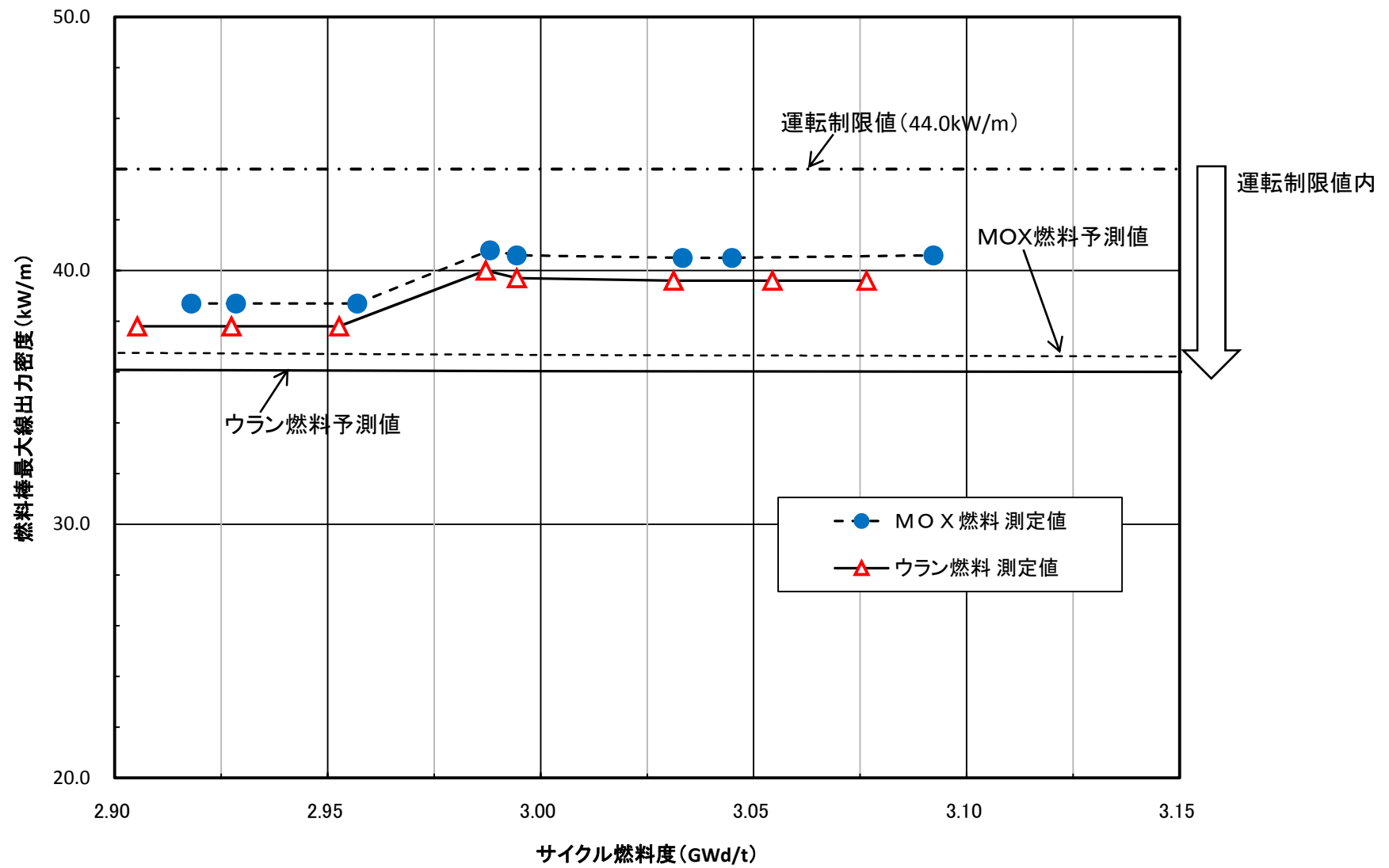


図2 燃料棒最大線出力密度の推移